## 1-2 北海道・渡島半島東部の地震(1992年8月24日・M6.3)

On the earthquake beneath Eastern Oshima Peninsula in Hokkaido (August 24, 1992·M6.3)

札幌管区気象台

Sapporo District Meteorological Observatory, JMA

1992年8月24日15時59分頃,北海道・渡島半島東部でM6.3のやや深い地震(深さ121km)が発生し、最大震度 N (帯広)を観測した。この地震による被害の報告はない。

震度分布は,震源の東側,北海道及び東北の太平洋沿岸に至るほぼ扇型に震度 I~IIが分布し,また関東地方の太平洋岸の一部や北陸の輪島でも有感になるなどの特徴を有している(第1図)。 この地震のメカニズム解は,北西−南東圧縮の逆断層タイプであった(第2図)。今回の地震は,震源の深さが121kmとやや深く,日本海溝に沿って沈み込む太平洋プレート内の上面付近で発生したものである(第3図①,②)。

また,第3図③~⑤にその後の活動状況を示したが,24日 (M6.3) の地震以後,マグニチュードは決定できないが翌25日の2回を含め9月30日までにほぼ同一場所で小規模な地震が4回発生した。第4図は,1961年以降の地震活動(震源の深さ≥100km,M≥5.0)を示したものである。渡島半島西部直下および周辺でやや多く発生しているが,東部では少なく,特にM6以上の地震は1926年以降,渡島半島全域でも今回のM6.3が初めての地震であった(第5図)。

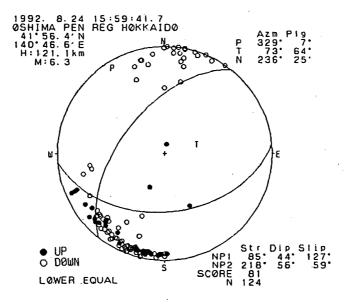
注1:1992年7月以降は気象庁の暫定震源

## 1992年8月24日の地震 (M6.3) 震度分布図 各地の護度(気象官器) 4: 帯広 92. 8. 24 15:59 3:森、根室、むつ、大船渡、 八戸, 釧路, 背森, 広尾 2:室閩,石巷,苫小牧,秋田 函館, 疝河, 宮古, 盛岡, 岩見沢、江楚 1:酒田、東京、水戸、絵島、 小名浜, 旭川, 網走, 仙台 俱知安, 小松 100 O. T. 1992. 8. 24 15:59:47. 1 41° 56. 4′ N 140°46.6'E Dep: 121. 1km

第1図 北海道・渡島半島東部の地震の震度分布(1992年 8 月24日,M6.3)

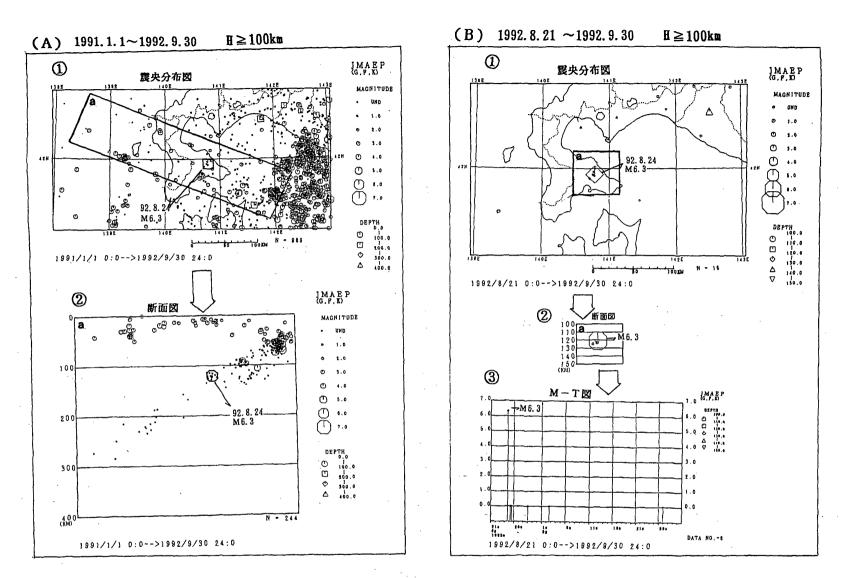
 $\mathbf{M}: 6.3 \text{ (JMA)}$ 

Fig. 1 Distribution of seismic intensities for the earthquake beneath the eastern Oshima peninsula (August 24, 1992, M6.3).



第2図 地震のメカニズム解(下半球投影)

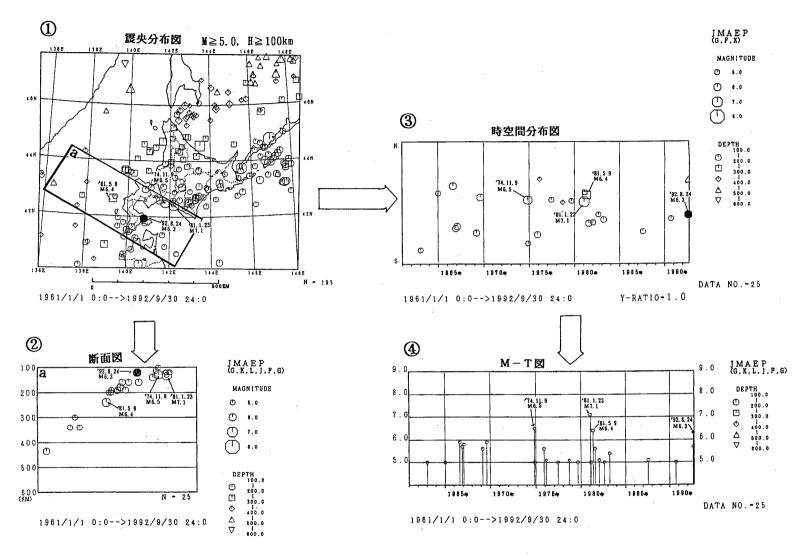
Fig. 2 Focal mechanism solution (Projected on the lower hemisphere).



第3図 渡島半島付近の地震活動((A)1991年1月~1992年9月, (B)1992年8月21日~9月30日) ①:震央分布 ②:断面図(W-E) (B)③:M-T図

Fig. 3 Seismic activity in and around Oshima Peninsula ((A) January, 1961—September, 1992, (B) August 21, 1992—September 30, 1992).

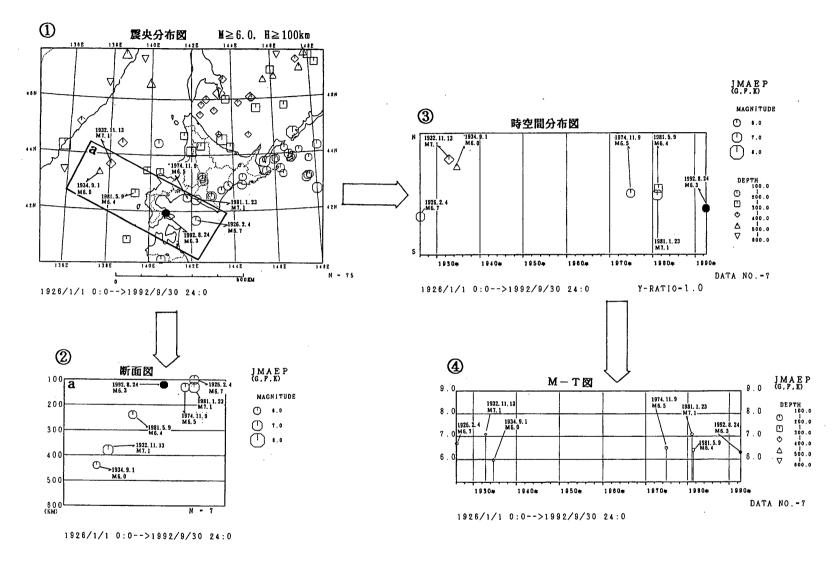
①: Epicentral distribution, ②: Vertical section (W-E), (B) ③: M-T diagram.



第4図 過去の地震活動(1961年1月~1992年9月; M≥5.0, H≥100km)

①:震央分布 ②:断面図(W-E) ③:時空間分布 ④:M-T図

Fig. 4 Past seismic activity (January, 1961-September, 1992; M≥ 5.0, H≥ 100 km).
(1): Epicentral distribution, (2): Vertical section (W-E), (3): Space-time plot, (4): M-T diagram.



第5図 過去の地震活動(1926年1月~1992年9月; M≥6.0, H≥100km)

①:震央分布 ②:断面図 (W-E) ③:時空間分布 ④:M-T図

Fig. 5 Past seismic activity (January, 1926—September, 1992; M≥6.0, H≥100 km).
①: Epicentral distribution, ②: Vertical section (W-E), ③: Space-time plot, ④: M-T diagram.